

都市再生整備計画 事後評価シート  
福井中心市街地地区

平成27年2月

福井県福井市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	福井市		地区名	福井中心市街地地区			面積	105ha	
交付期間	平成22年度～平成26年度		事後評価実施時期	平成26年度		交付対象事業費	5,424.3百万円	国費率	0.45			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園[日之出公園]、地域生活基盤施設[自転車駐輪場整備(中央1丁目)]、地域生活基盤施設[サイン(中心市街地地区内)]、地域生活基盤施設[サイン(駅周辺区画整理区域内)]、高質空間形成施設[福井駅周辺地区]、高質空間形成施設[浜町通り界限(市道中央1-315号他6路線)]、土地区画整理事業[福井駅周辺地区]									
		提案事業	事業活用調査[事業効果分析調査]、まちづくり活動推進事業[まちなか活性化交流イベント事業]、まちづくり活動推進事業[イルミネーション事業]									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		提案事業										
	新たに追加した事業	基幹事業	①道路[歩行者専用道路] ②公園[中央公園] ③地域生活基盤施設[屋根付き広場・トイレ・自転車駐輪場整備(以上、西口再開発関連)] ④高質空間形成施設[中央公園・城址周辺(市道1-369号線他)] ⑤高次都市施設[広域観光情報・物産展示販売・観光物産事務局・子ども一時預かり所(以上、西口再開発関連)]			①まちなかの回遊性を高めるために追加 ②中心市街地での滞在に繋げるために追加 ③賑わい創出や市民の利便性の向上、中心市街地の歩行環境の改善のために追加 ④まちなかの回遊性を高めるために追加 ⑤西口再開発ビルの広域観光や情報発信拠点などとしての機能を強化するために追加			①指標への影響は少ないと判断 ②指標2の目標値を変更 ③指標3の目標値を変更  ④指標2の目標値を変更 ⑤指標への影響は少ないと判断			
		提案事業	①地域創造支援事業[中心市街地都市模型・VR制作事業] ②地域創造支援事業[ご当地グルメ発信事業] ③地域創造支援事業[滞在拠点化事業] ④地域創造支援事業[屋根付き広場附帯設備整備事業] ⑤地域創造支援事業[総合ボランティアセンター整備事業] ⑥地域創造支援事業[ビル等の熱環境改善対策助成事業] ⑦地域創造支援事業[まちづくりセンター整備運営事業] ⑧地域創造支援事業[景観支援事業] ⑨地域創造支援事業[サイクルシェア事業(社会実験)] ⑩地域創造支援事業[中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業] ⑪地域創造支援事業[(仮称)グリフィス記念館整備事業] ⑫地域創造支援事業[浜町観光誘客施設整備支援事業] ⑬まちづくり活動推進事業[中心市街地活性化ワークショップ開催事業] ⑭まちづくり活動推進事業[中央公園デザインワークショップ開催事業]			①将来イメージの共有、中心市街地への関心を高めるために追加 ②中心市街地への来街者拡大を図るために追加 ③中心市街地での滞在や回遊につなげるために追加 ④中心市街地の賑わいにつなげるために追加 ⑤市民主体のまちづくりを目指すために追加 ⑥中心市街地の良好な景観の創出を図るために追加 ⑦中心市街地を活性化させるために追加 ⑧福井らしい良好な景観の形成を図るために追加 ⑨中心市街地の回遊性を高めるために追加 ⑩中心市街地の歩行環境を整えるために追加 ⑪中心市街地の観光の魅力を生かすために追加 ⑫中心市街地の観光の魅力を生かすために追加 ⑬まちづくり活動を活性化させるために追加			①～⑭全てにおいて、指標への影響は少ないと判断			
交付期間の変更	当初	平成22年度～平成26年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	バス乗車人員	人/日	2,393	H21	2,393	H26	2,663	○	あり	交通結節拠点である西口交通広場、集客拠点として期待される西口再開発関連の事業は完成していないものの、市民主体のまちづくり活動や情報発信の拠点であるまちづくりセンター「ふく+」の開設、中心市街地を舞台に開催される各種イベントなどの効果により、中心市街地の魅力や期待感が高まり、バス乗車人員の減少に歯止めがかかった。	平成28年6月
	指標2	歩行者・自転車通行量	人/日	43,212	H21	47,710	H26	29,548	×	あり	集客や回遊の核として期待される西口再開発関連の事業が未完成であること、また、西口再開発の工事の影響により、歩行者の回遊性が阻害されていることが目標未達成の大きな要因と考えられる。	平成28年7月
指標3	路上駐輪台数	台	456	H21	258	H26	354	△	あり	既存の駐輪場において放置自転車の整理が行われたため従前値からは改善傾向にあるが、福井駅周辺の駐輪需要を受け止めるはずの西口再開発の自転車駐輪場が未完成であること、中央1丁目の自転車駐輪場が用地交渉が整わず事業中止となったことが目標未達成の大きな要因と考えられる。	平成28年9月	
									なし			

3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度※1	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の 数値指標1	中心市街地イベントの スタッフ数		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
			人	550	H21				697			イベント開催に対する支援、イベント空間としての魅力の高まり、市民の中心市街地に対する意識啓発により、イベント内容の充実、市民のまちづくり意識の高揚が図られ、イベントのスタッフ数が増加した。	平成29年4月
4) 定性的な効果 発現状況	<p>中心市街地に対する期待感の高まりが一部感じられ、次のような動きが見られる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間投資の活発化(集合住宅、大手専門学校)</li> <li>・中心市街地を舞台とした新たなイベントの誕生(フクイ夢アート、まちフェス)</li> <li>・浜町通り界限におけるまちづくり機運の高揚(こみちこまち浜町推進協議会による多種多様な取り組みの展開、店舗や家屋の修景整備)</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地活性化ワークショップを開催</li> <li>・中央公園デザインワークショップを開催</li> </ul>			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も市民のまちづくり意識の啓発や各種事業に市民意向を反映するために、ワークショップ等の市民参画の機会を提供する。				
	持続的なまちづくり 体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり福井株式会社が都市再生整備推進法人に指定</li> <li>・NPO法人きちづくり福井が発足</li> </ul>			都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も市民や民間の取り組みに対して支援を行うとともに、官民が連携して中心市街地の活性化に向けた取り組みを進める。				

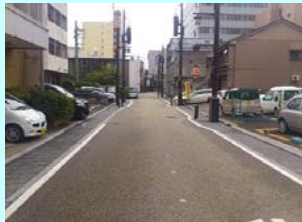
## 様式2-2 地区の概要

### 福井中心市街地地区(福井県福井市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標	『中心市街地の賑わいの再生』	バス乗車人員	人/日	2,393	H21	2,393	H26	2,663	H26
目標1	JR福井駅や市内バス等の利便性を高め「交通結節機能の強化」を図ることにより、広域ターミナル機能の充実を図る。	歩行者・自転車通行量	人/日	43,212	H21	47,710	H26	29,548	H26
目標2	土地区画整理事業や市街地再開発事業による「新たな都市空間の創造を図り、商業・業務・文化・居住などの都市機能を再編することでにぎわいを再生する。	路上駐輪台数	台	456	H21	258	H26	354	H26



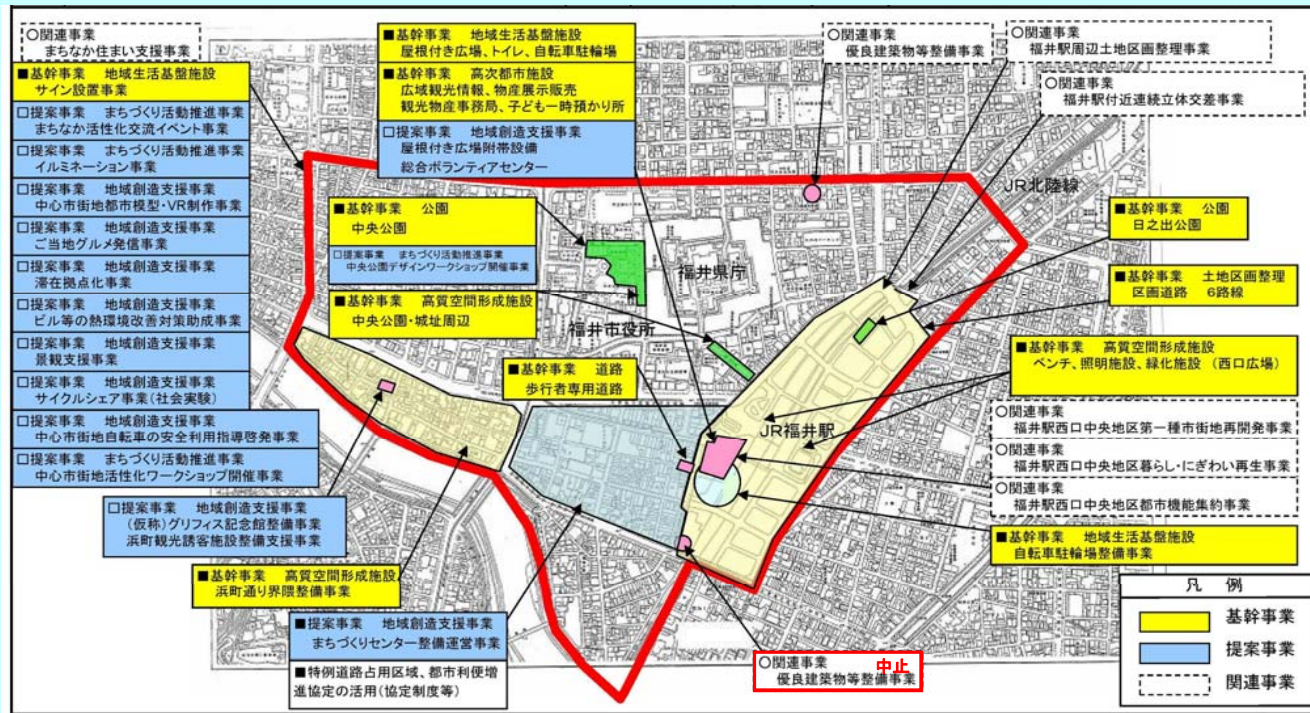
△サイン(駅周辺区画整理区域内)



△浜町通り境界



△ご当地グルメ発信事業



△まちづくりセンター整備運営事業



△サイクルシェア事業



△イルミネーション事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○西口再開発事業やえちぜん鉄道高架化との調整を図りながら、西口交通広場におけるバスターミナルの整備や路面電車の乗り入れ、東西交通広場における利用者の快適性や利便性を高める高質化を推進し、福井駅の交通結節機能を強化する必要がある。</li> <li>○自転車利用者の駐輪時の利便性や路上駐輪の解消による歩行環境の向上を図るため、駐輪場の早期完成が望まれる。</li> <li>○マンションや大手専門学校の新規立地など、中心市街地に対する期待感の高まりが一部で感じられるようになったが、集客や回遊の核として観光、文化、情報発信、生活支援といった様々な都市機能を複合する西口再開発ビルが早期完成が望まれる。また、都市機能の立地誘導に必要不可欠な都市基盤の整備が必要である。</li> <li>○浜町通り境界の景観整備により観光や交流の拠点としてのポテンシャルが高まったが、更に中心市街地の賑わいを創出するためには、西口再開発ビルや屋根付き広場をはじめ、人々の交流の場となる公園の整備を推進する必要がある。</li> <li>○浜町通り境界の景観整備により回遊の拠点としてポテンシャルが高まったが、歩行者の回遊を更に促すためには、拠点周辺の歩行者空間や拠点間を結ぶ動線を確保するとともに、歩きやすくなる魅力的な空間や仕掛けを整える必要がある。</li> <li>○官民協働による取り組みが以前より活発になったが、更なる賑わいの創出に向けて、市民や民間事業者に対する支援や官民協働による取り組みの積極的展開を図る必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福井駅部における交通結節機能の強化(西口交通広場の整備、東西交通広場の高質化)</li> <li>○自転車利用環境の充実、強化(サイクルシェア事業、自転車駐輪場の整備)</li> <li>○新たな都市機能の立地誘導(西口再開発事業及び関連事業、民間事業者に対する立地支援)</li> <li>○都市機能の立地誘導を支える都市基盤の整備推進(福井駅周辺土地区画整理事業、福井駅付近連続立体交差事業)</li> <li>○浜町通り境界の更なる拠点性の向上(観光施設の整備)</li> <li>○賑わいをもたらす交流拠点・空間の創出(西口再開発事業及び関連事業、日之出公園・中央公園の整備)</li> <li>○歩きやすくなる魅力的な歩行者空間の創出(西口再開発ビルに至る歩行者専用道路・城址周辺・歴史回廊(都)県庁線の整備、まちなか公共サインの設置)</li> <li>○民間支援及び官民連携体制の充実、強化(都市再生整備推進法人への支援、市民団体や民間事業者への支援、市民への啓発)</li> </ul>

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		指標2「歩行者・自転車通行量」 47,500人/日 指標3「路上駐輪台数」 305台	指標2「歩行者・自転車通行量」 47,710人/日 指標3「路上駐輪台数」 258台	指標2:中央公園整備の追加に伴う変更 指標3:自転車駐輪場整備の追加に伴う変更
D. その他(協定制度等の取り組み)	●		—	「道路占用許可特例制度の活用」を追加	都市再生特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う特例道路占用区域、都市利便増進協定の活用のため

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	歩行者専用道路	-	-	70.0	W=6m L=20m	まちなかの回遊性を高めるため、第5回変更時に追加	指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた	-	-
公園	日之出公園	14.0	A=1,470㎡	11.0	A=994㎡	事業内容の見直しに伴い第3回変更時に事業量及び事業費を変更	軽微な変更であるため影響はないと判断した	-	-
公園	中央公園	-	-	134.0	A=7,400㎡	中心市街地での滞在に繋げるため、第3回変更時に追加	指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するため、見込まれる効果分を数値目標に上乗せした	-	-
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	自転車駐輪場整備(中央1丁目)	500.0	A=1,780㎡	500.0	A=1,780㎡	-	-	-	-
地域生活基盤施設	サイン(中心市街地地区内)	6.0	2箇所	6.0	2箇所	-	-	-	-
地域生活基盤施設	サイン(駅周辺区画整理区域内)	26.8	7箇所	73.4	40箇所	事業内容の見直しに伴い第1・2回変更時に事業量及び事業費を変更	指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
地域生活基盤施設	屋根付き広場(西口再開発)	-	-	2,167.0	A=1,518㎡	賑わい創出のため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
地域生活基盤施設	トイレ(西口再開発)	-	-	59.0	A=85㎡	市民の利便性を高めるため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
地域生活基盤施設	自転車駐輪場整備(西口再開発)	-	-	112.0	A=242㎡	歩行環境を整えるため、第3回変更時に追加	指標3「路上駐輪台数」に関連するため、見込まれる効果分を数値目標に上乗せした		●
高質空間形成施設	福井駅周辺地区	660.0	西口交通広場 A=11,100㎡ 東口交通広場 A=9,140㎡	52.0	西口交通広場 A=11,100㎡	事業内容の見直しに伴い第4・5回変更時に事業量及び事業費を変更	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
高質空間形成施設	浜町通り界隈 (市道中央1-315号他6路線)	238.0	L=606m	187.0	L=606m	事業内容の見直しに伴い第1・2回変更時に事業量及び事業費を変更	軽微な変更であるため影響はないと判断した	●	
高質空間形成施設	中央公園・城址周辺 (市道1-369号線他)	-	-	285.0	L=360	まちなかの回遊性を高めるため、第3回変更時に追加	指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するため、見込まれる効果分を数値目標に上乗せした	-	-
高次都市施設	広域観光情報(西口再開発)	-	-	45.0	A=100㎡	西口再開発ビルの広域観光機能を強化するため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
高次都市施設	物産展示販売(西口再開発)	-	-	275.0	A=520㎡	西口再開発ビルの物産機能を強化するため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
高次都市施設	観光物産事務局(西口再開発)	-	-	266.0	A=508㎡	西口再開発ビルの観光物産機能を強化するため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
高次都市施設	子ども一時預かり所 (西口再開発)	-	-	83.0	A=148㎡	子育て世代が訪れやすい環境とするため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)	福井駅周辺地区	47.0	A=16.6ha	47.0	A=16.6ha	-	-		●
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	中心市街地都市模型・VR制作事業	-	-	43.0	業務委託	将来イメージの共有、中心市街地への関心を高めるため、第2回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた	●	
	ご当地グルメ発信事業	-	-	2.0	業務委託	来街者拡大を図るため、第2回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した	●	
	滞在拠点化事業	-	-	24.0	業務委託	中心市街地の滞在や回遊につなげるため、第2回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
	屋根付き広場附帯設備整備事業	-	-	70.0	大型ビジョン	賑わい創出のため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
	総合ボランティアセンター整備事業	-	-	471.0	床購入	市民主体のまちづくりを目指すため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
	ビル等の熱環境改善対策助成事業	-	-	3	補助金	良好な景観を創出するため、第3回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した		●
	まちづくりセンター整備運営事業	-	-	12.0	業務委託 店舗賃借・改装	中心市街地活性化のため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた	●	
	景観支援事業	-	-	1.0	補助金	良好な景観を創出するため、第3回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した	-	-
	サイクルシェア事業(社会実験)	-	-	8.0	補助金	回遊性を高めるため、第3回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた	●	
	中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業	-	-	2.0	補助金	歩行環境を整えるため、第3回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した	-	-
	(仮称)グリフィス記念館整備事業	-	-	171.0	設計・用地取得・施設整備	観光の魅力を高めるため、第5回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた		●
	浜町観光誘客施設整備支援事業	-	-	193.0	補助金	観光の魅力を高めるため、第5回変更時に追加	指標1「バス乗車人員」、指標2「歩行者・自転車通行量」に関連するが、他の事業による影響が大きいことから、数値目標は据え置いた	-	-
事業活用調査	事業効果分析調査	4.0	業務委託	4.0	業務委託	-	-	●	
まちづくり活動推進事業	まちなか活性化交流イベント事業	5.0	業務委託	5.0	業務委託	-	-	●	
まちづくり活動推進事業	イルミネーション事業	80.0	業務委託	35.0	業務委託	事業内容の見直しに伴い第2回変更時に事業費を変更	軽微な変更であるため影響はないと判断した	●	
まちづくり活動推進事業	中心市街地活性化ワークショップ開催事業	-	-	1.0	業務委託	まちづくり活動の活性化に向けて、第3回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した		●
まちづくり活動推進事業	中央公園デザインワークショップ開催事業	-	-	9.0	業務委託	整備計画に市民意向を反映するため、第3回変更時に追加	小規模な事業であるため影響はないと判断した	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
福井駅付近連続立体交差事業		JR北陸線、えちぜん鉄道他	58,300	58,300	平成4年度～平成21年度	平成4年度～平成28年度	実施中		
福井駅周辺土地区画整理事業		福井駅周辺	45,647	45,642	平成4年度～平成24年度	平成4年度～平成30年度	実施中		
優良建築物等整備事業		福井中心市街地地区内	5,980	5,980	平成20年度～平成23年度	平成20年度～平成23年度	1件完成、1件中止		
まちなか住まい支援事業		福井中心市街地地区内	150	150	平成22年度～平成24年度	平成22年度～平成24年度	完了		
福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業		中央一丁目	-	3,036	平成22年度～平成24年度	平成22年度～平成26年度	平成27年度に完成予定		
福井駅西口中央地区暮らしにぎわい再生事業		中央一丁目	-	1,946	-	平成22年度～平成26年度	平成27年度に完成予定		
福井駅西口中央地区都市機能集約事業		中央一丁目	-	1,230	-	平成24年度～平成26年度	平成27年度に完成予定		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	事後評価	あり	なし			
指標1	バス乗車人員	人/日	平成26年6月に京福バスが実施したバス乗車人員調査の結果を評価値とする。 なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。	-	-	2,393	H21	2,393	H26	モニタリング		モニタリング		○		
										事後評価	確定 見込み ●	2,663	事後評価			
指標2	歩行者・自転車通行量	人/日	平成26年7月に福井市が実施した歩行者・自転車通行量調査の結果を評価値とする。 なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。	-	-	43,212	H21	47,710	H26	モニタリング		モニタリング		×		●
										事後評価	確定 見込み ●	29,548	事後評価			
指標3	路上駐輪台数	台	平成26年4月から8月に福井市が実施した現地調査の結果を評価値とする。 なお、調査時点では本指標に関連する事業がすべて完了していないため見込み値とし、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。	-	-	456	H21	258	H26	モニタリング		モニタリング		△		●
										事後評価	確定 見込み ●	354	事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	西口交通広場、西口再開発関連事業などの未完了の事業があったものの、中心市街地の魅力や期待感を高める事業が指標の改善に間接的に貢献し、目標値を上回った。	-
指標2	集客拠点として期待される西口再開発関連事業、中央公園が未完了であることや、西口再開発の工事の影響によって歩行者の回遊動線が変化したことによって、目標を達成することができず、また、近年の傾向からの改善もみられなかった。	-
指標3	西口再開発の自転車駐輪場が未完了であること、中央1丁目の自転車駐輪場が用地交渉が整わず事業中止となったことによって、目標を達成することができなかった。 一方、既存の駐輪場において放置自転車の整理が行われたことによって、従前値からは改善がみられた。	-

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	モニタリング	事後評価	確定 見込み			
その他の数値指標1	人	平成22年度から平成25年度の実績から評価値基準日(平成27年3月31日)の値を推計し評価値とした。推計値であり、また、関連する事業がすべて完了していないため、関連事業完了後にフォローアップを行い評価値を確定する。	-	-	550	H21	モニタリング	事後評価	確定 見込み ●	697	本地区の大目標である「中心市街地の賑わいの再生」に資する効果として、イベントに関わるスタッフ数の増加は、市民の関心の高まりやイベントの質の向上を量る指標としてふさわしいと考えられる。	-
その他の数値指標2							モニタリング	事後評価	確定 見込み			
その他の数値指標3							モニタリング	事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- 中心市街地に対する期待感の高まりが一部感じられ、次のような動きが見られる。
- ・民間投資の活発化(集合住宅、大手専門学校)
  - ・中心市街地を舞台とした新たなイベントの誕生(フクイ夢アート、まちフェス)
  - ・浜町通り界限におけるまちづくり機運の高揚(こみちこまち浜町推進協議会による多種多様な取り組みの展開、店舗や家屋の修景整備)

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
中心市街地活性化ワークショップ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】2シリーズ、計5回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】中心市街地における魅力発信や、低未利用地の利活用方法の可能性について意見交換がなされた。	今後も市民のまちづくり意識の啓発や各種事業に市民意向を反映するために、ワークショップ等の市民参画の機会を提供する。
中央公園デザインワークショップ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 【実施頻度】計2回 【実施時期】平成25年度 【実施結果】中央公園のゾーニングや利活用のプログラム、それらを可能にする組織や施設整備について検討がなされた。	

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
まちづくり福井株式会社が都市再生整備推進法人に指定	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 都市再生特別措置法第73条の規定による都市再生整備推進法人の指定を受け、広場や道路空間を活用したイベント等を実施している。	まちづくり福井株式会社	今後も市民や民間の取り組みに対して支援を行うとともに、官民が連携して中心市街地の活性化に向けた取組みを進める。
NPO法人きちづくり福井が発足	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● まちづくりセミナーの参加者が市民団体を立ち上げ、中心市街地を舞台に様々なプロジェクトを展開している。現在はNPO法人。	NPO法人きちづくり福井	

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見照会の実施	<<都市戦略部>>駅周辺整備課、自転車利用推進課 <<市民生活部>>環境課 <<商工労働部>>商工振興課、おもてなし観光推進室 <<建設部>>公園課	平成26年11月10日～平成26年11月20日	都市戦略部都市整備室 (都市再生整備計画担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

種別	指標の種別 指標名	指標改善への貢献度	指標1	その他の数値指標1		指標改善への貢献度	総合所見
			バス乗車人員	総合所見	総合所見		
基幹事業	道路:歩行者専用道路	—	交通結節拠点である西口交通広場、集客拠点として期待される西口再開発関連の事業は完成していないものの、市民主体のまちづくり活動や情報発信の拠点であるまちづくりセンター「ふく+」の開設、中心市街地を舞台に開催される各種イベントなどの効果により、中心市街地の魅力や期待感が高まり、バス乗車人員の減少に歯止めがかかった。	—	イベント開催に対する支援、イベント空間としての魅力の高まり、市民の中心市街地に対する意識啓発により、イベント内容の充実、市民のまちづくり意識の高揚が図られ、イベントのスタッフ数が増加した。	—	
	公園:白之出公園	—		△			
	公園:中央公園	—		△			
	地域生活基盤施設:自転車駐車場整備(中央1丁目)	—		△			
	地域生活基盤施設:サイン(中心市街地地区内・福井駅周辺地区内)	—		△			
	地域生活基盤施設:屋根付き広場・トイレ・駐輪場(西口再開発)	△		△			
	高質空間形成施設:福井駅周辺地区	△		△			
	高質空間形成施設:浜町通り界隈	—		○			
	高質空間形成施設:中央公園・城址周辺	—		△			
	高次都市施設:広域観光情報・物産展示販売・観光物産事務局・子ども一時預かり所(西口再開発)	△		△			
	土地区画整理事業:福井駅周辺地区	—		—			
	地域創造支援事業:中心市街地都市模型・VR制作事業	○		—			
	地域創造支援事業:ご当地グルメ事業	○		◎			
	地域創造支援事業:滞在拠点化事業	△		○			
地域創造支援事業:屋根付き広場附帯設備整備事業(西口再開発)	△	△					
地域創造支援事業:総合ボランティアセンター整備事業(西口再開発)	△	△					
地域創造支援事業:ビル等の熱環境改善対策助成事業	—	—					
地域創造支援事業:まちづくりセンター整備運営事業	○	○					
地域創造支援事業:景観支援事業	—	—					
地域創造支援事業:サイクルシェア事業(社会実験)	○	—					
地域創造支援事業:中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業	—	—					
地域創造支援事業:(仮称)グリフィス記念館整備事業	△	△					
地域創造支援事業:浜町観光誘客施設整備支援事業	△	△					
まちづくり活動推進事業:まちなか活性化交流イベント事業	○	○					
まちづくり活動推進事業:イルミネーション事業	○	○					
まちづくり活動推進事業:中心市街地活性化ワークショップ開催事業	—	○					
まちづくり活動推進事業:中央公園デザインワークショップ開催事業	—	○					
関連事業	福井駅付近連続立体交差事業	△	—	—	—		
	福井駅周辺土地区画整理事業	△	—	—	—		
	優良建築物等整備事業	○	—	—	—		
	まちなか住まい支援事業	○	—	—	—		
	福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業	△	△	△			
	福井駅西口中央地区暮らしにぎわい再生事業	△	△	△			
福井駅西口中央地区都市機能集約事業	△	△	△				

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	西口再開発関連事業の早期完成とあわせて、中心市街地の魅力を高める各種事業を継続して実施することにより、市民等の来訪機会を増やすとともに、西口交通広場をはじめとする交通結節機能を強化し、路線バスなど公共交通の利便性を高める。	公園や西口再開発関連事業などイベント空間としての魅力を高める各種事業、イベント開催に対する支援を継続して実施し、イベント内容の更なる充実を図るとともに、中心市街地のまちづくりに関わりたいと考える市民の輪を広げる。
-------	---	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2			指標3					
指標名		歩行者・自転車通行量			路上駐輪台数					
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路:歩行者専用道路	×	集客や回遊の核として期待される西口再開発関連の事業が未完成であること、また、西口再開発の工事の影響により、歩行者の回遊性が阻害されていることが目標未達成の大きな要因と考えられる。	I	—	既存の駐輪場において放置された自転車の整理が行われなかったため従前値からは改善傾向にあるが、福井駅周辺の駐輪需要を受け止めるはずの西口再開発の自転車駐輪場が未完成であること、中央1丁目の自転車駐輪場が用地交渉が整わず事業中止となったことが目標未達成の大きな要因と考えられる。	I	—		
	公園:日之出公園	×			—					
	公園:中央公園	×			—					
	地域生活基盤施設:自転車駐輪場整備(中央1丁目)	×			×					
	地域生活基盤施設:サイン(中心市街地地区内・福井駅周辺地区内)	×			—					
	地域生活基盤施設:屋根付き広場・トイレ・駐輪場(西口再開発)	×			×					
	高質空間形成施設:福井駅周辺地区	×			—					
	高質空間形成施設:浜町通り界隈	△			—					
	高質空間形成施設:中央公園・城址周辺	×			—					
	高次都市施設:広域観光情報・物産展示販売・観光物産事務局・子ども一時預かり所(西口再開発)	×			×			—		
土地区画整理事業:福井駅周辺地区	×	—	—	—	—	—	—	—	—	
提案事業	地域創造支援事業:中心市街地都市模型・VR制作事業	△	—	I	—	I	—			
	地域創造支援事業:ご当地グルメ事業	△	—							
	地域創造支援事業:滞在拠点化事業	×	—							
	地域創造支援事業:屋根付き広場附帯設備整備事業(西口再開発)	×	—							
	地域創造支援事業:総合ボランティアセンター整備事業(西口再開発)	×	—							
	地域創造支援事業:ビル等の熱環境改善対策助成事業	—	—							
	地域創造支援事業:まちづくりセンター整備運営事業	△	—							
	地域創造支援事業:景観支援事業	—	—							
	地域創造支援事業:サイクルシェア事業(社会実験)	△	—							
	地域創造支援事業:中心市街地自転車の安全利用指導啓発事業	×	—							
	地域創造支援事業:(仮称)グリフィス記念館整備事業	×	—							
	地域創造支援事業:浜町観光誘客施設整備支援事業	×	—							
	まちづくり活動推進事業:まちなか活性化交流イベント事業	△	—							
	まちづくり活動推進事業:イルミネーション事業	△	—							
まちづくり活動推進事業:中心市街地活性化ワークショップ開催事業	—	—								
まちづくり活動推進事業:中央公園デザインワークショップ開催事業	—	—								
関連事業	福井駅付近連続立体交差事業	×	—		—		—			
	福井駅周辺土地区画整理事業	×	—							
	優良建築物等整備事業	△	—							
	まちなか住まい支援事業	△	—							
	福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業	×	×							
	福井駅西口中央地区暮らし・にぎわい再生事業	×	×							
福井駅西口中央地区都市機能集約事業	×	×	—							

※目標未達成への影響度  
 ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたとと思われる。  
 —: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能なお要因。  
 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能なお要因。  
 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能なお要因。  
 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能なお要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>集客や回遊の核として期待される西口再開発関連事業の早期完成を目指すとともに、浜町通り界隈の拠点整備や中心市街地の魅力を高める各種事業を継続して実施し、中心市街地の集客力を高める。</p> <p>また、集客拠点間の歩行者動線や周囲の景観を良質なものに整えることにより、歩きたくなるまちづくりを推進する。</p>	<p>西口再開発ビル内の自転車駐輪場の早期完成を目指すとともに、適切な場所にその他の駐輪施設も確保し、自転車利用者をそれら施設に適切に誘導することによって路上駐輪台数を減らし、安心して快適に移動できる歩行者空間を確保する。</p>
------------------	---	---

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
意見照会の実施	≪都市戦略部≫ 駅周辺整備課、自転車利用推進課 ≪市民生活部≫ 環境課 ≪商工労働部≫ 商工振興課、おもてなし観光推進室 ≪建設部≫ 公園課	平成26年11月10日～平成26年11月20日	都市戦略部都市整備室 (都市再生整備計画担当課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
駅前広場の機能強化	—	西口再開発事業やえちぜん鉄道高架化との調整を図りながら、西口交通広場におけるバスターミナルの整備や路面電車の乗り入れ、東西交通広場における利用者の快適性や利便性を高める高質化を推進し、福井駅の交通結節機能を強化する必要がある。	—
自転車環境の充実	中心市街地の回遊性に寄与するサイクルシェアの社会実験を行った結果、利用状況が把握でき、運用上の課題を整理することができた。	自転車利用者の駐輪時の利便性や路上駐輪の解消による歩行環境の向上を図るため、駐輪場の早期完成が望まれる。	
新たな都市機能の誘導	マンションや大手専門学校の新規立地など、中心市街地に対する期待感の高まりが一部で感じられる。	観光、文化、情報発信、生活支援といった様々な都市機能を複合する西口再開発ビルの早期完成が望まれる。また、都市機能の立地誘導に必要な不可欠な都市基盤の整備が必要である。	
交流拠点・空間の創出	浜町通り界隈の景観整備により、足羽川の自然や景観と一体となった歴史情緒あふれる街並みが整い、観光や交流の拠点としてのポテンシャルが高まった。	集客や回遊の核として期待される西口再開発ビルや屋根付き広場をはじめ、人々の交流の場となる公園の整備を推進し、中心市街地内の賑わいを創出する必要がある。	
回遊性の創出	浜町通り界隈の景観整備により、足羽山と福井駅前を結ぶ回遊の拠点としてのポテンシャルが高まった。福井駅前南通りや木田橋通り、お泉水通りに公共サインが整備され、わかりやすい歩行者動線の形成に寄与している。	拠点周辺の歩行者空間や拠点間を結ぶ動線を確保するとともに、歩きたくなる魅力的な空間や仕掛けを整え、歩行者の回遊を促す必要がある。また、歩行者動線上には公共サインを設置し、わかりやすい歩行者動線を形成する必要がある。	
市民活動等の活発化	都市再生整備推進法人やNPO法人などが主体となったまちづくり活動や、官民協働による取り組み(イベント開催等)が以前より活発になった。また、イベント内容の充実や市民のまちづくり意識の高まりにより、イベントスタッフ数が増加している。	賑わいの創出に向けて、市民や民間事業者に対する更なる支援や官民協働による取り組みの積極的展開を図る必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	自転車の利用環境の充実	サイクルシェア事業を本格的に実施し、中心市街地の回遊性の創出に寄与する。	・サイクルシェア事業の実施
	浜町通り境界の更なる拠点性の向上	景観整備に伴い高まった観光や交流の拠点としてのポテンシャルを更に高め、賑わい創出に寄与する。	・浜町通り境界における観光施設の整備

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	福井駅部における交通結節機能の強化	バスターミナルの整備や路面電車の乗り入れが計画されている西口交通広場の整備や、利用者の利便性を高める東西交通広場の高質化を推進する。	・西口交通広場の整備及び高質化 ・東口交通広場の高質化
	自転車の利用環境の強化	自転車利用者の利便性の向上、安全な歩行者空間の確保のため、駐輪場の整備を推進する。	・自転車駐輪場の整備(西口再開発ビル内での駐輪場確保、歩道や空地・空き店舗を活用した分散型駐輪場の整備)
	新たな都市機能の立地誘導	集客や回遊の核となる西口再開発事業を推進するとともに、民間事業者の立地誘導に取り組む。	・西口再開発事業及び関連事業の継続 ・民間事業者に対する立地支援(住宅やオフィス等)
	都市機能の立地誘導を支える都市基盤の整備推進	都市機能が立地しやすい市街地環境を整えるため、現在施行中の土地区画整理事業や連続立体交差事業を推進する。	・福井駅周辺土地区画整理事業、福井駅付近連続立体交差事業の推進
	賑わいをもたらす交流拠点・空間の創出	集客や回遊の核となる西口再開発事業や、回遊の拠点となる公園の整備を推進する。	・西口再開発事業及び関連事業の継続 ・日之出公園、中央公園の整備
	歩きたくなる魅力的な歩行者空間の創出	中心市街地内の様々な拠点を結ぶ歩行者動線を確保し、周囲の街並みと調和した魅力的な歩行空間に仕上げるとともに、公共サインによってわかりやすく誘導する。	・西口再開発ビルに至る歩行者専用道路、城址周辺、歴史回廊、(都)県庁線の整備 ・福井駅周辺土地区画整理事業、福井駅付近連続立体交差事業の推進 ・まちなか公共サインの設置
民間支援及び官民連携体制の充実、強化	民間の活力を活かすため、また、官民の連携を強化するため、民間事業者や市民団体への活動支援、市民啓発を推進する。	・都市再生整備推進法人への支援 ・市民団体や民間事業者への支援(まちづくりセンター運営、イベント開催等) ・市民への啓発(ワークショップ等)	

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。



添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	バス乗車人員	人/日	2,393	H21	2,393	H26	確定	●	2,663	○	あり	→	平成28年6月	平成28年6月に実施する調査結果を計測	—
							見込み				なし				
指標2	歩行者・自転車通行量	人/日	43,212	H21	47,710	H26	確定	●	29,548	×	あり	→	平成28年7月	平成28年7月に実施する調査結果を計測	—
							見込み				なし ●				
指標3	路上駐輪台数	台	456	H21	258	H26	確定	●	354	△	あり	→	平成28年9月	平成28年4～8月に実施する調査結果を計測	—
							見込み				なし ●				
その他の数値指標1	中心市街地イベントのスタッフ数	人	550	H21	/	/	確定	●	697	/	あり	→	平成29年4月	平成28年度の実績を計測	—
							見込み				なし				
					/	/	確定			/	あり	→			
							見込み				なし				

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	—	・外部要因に左右されない数値指標の設定、指標計測時期の柔軟な設定、外部要因による影響を踏まえた評価方法の検討などが必要である。
	うまくいかなかった点	・指標2「歩行者・自転車通行量」は調査日の天候に左右される指標であるため、適正な評価が困難な面があった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	—	・目標値の設定においては、事業効果の積み上げを可能な限り行い、事業の変更・追加があった場合はその効果を適切に見直すことが望まれる。 ・次期計画では中心市街地活性化基本計画の数値指標との整合を十分に図る。
	うまくいかなかった点	・交付対象事業の変更・追加が多く、数値目標と事業の関係がわかりにくかった。 ・エリアや目標を同じくする中心市街地活性化基本計画の数値指標との整合が十分に図られていなかったため、計画間の関連がわかりにくく、また、指標計測の効率性に問題があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・住民参加プロセスとして実施した中心市街地活性化ワークショップや中央公園デザインワークショップをはじめ、各主体による様々な市民参加の機会が提供されており、市民のまちづくりに対する関心や意識の高まり、市民団体の設立などにつながった。	・市民がまちづくりに関わるができる機会を出来るだけ提供し、市民が主体となったまちづくり活動や官民連携の取り組みにつなげることが望まれる。
	うまくいかなかった点	—	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	
その他	うまくいった点	—	—
	うまくいかなかった点	—	

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の事後評価を予定する地区  
平成27年度より本地区の次期計画を実施する予定である。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	福井市ホームページに掲載	平成26年11月25日～12月9日	平成25年11月25日～12月9日	下記の方法で 都市整備室に提出 ・郵送 ・持ち込み ・ファックス ・Eメール ・ふくe-ねっと(電子申請・届出サービス)	都市戦略部 都市整備室
広報掲載・回覧・個別配布	市政広報により周知	市政広報FUKUI(H26.11.25号)に掲載	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	・サインのデザインに関する意見が1件あった。				
-------	------------------------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	川上 洋司(福井大学大学院工学研究科建築建設工学専攻) 岡 敏弘(福井県立大学経済学部) 高島 正信(福井工業大学建築生活環境学科) 廣部 英一(福井工業高等専門学校環境都市工学科)	平成27年1月16日	都市戦略部 都市整備室	福井市まちづくり交付金 評価委員会設置要綱	福井市公共事業等 評価委員会
その他の委員	羽場 千尋(一般社団法人福井県建築士会) 松原 かおり(福井市まちづくりセンター(ふく+)) 蓮花 慶子(株)マインドアンドサウンドライブ)				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に沿って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・目標値の設定根拠や事業との関連性を明確にしてほしい。 ・指標3「路上駐輪台数」について、取り締まりにより減少するものであるため、駐輪場整備に係る指標としてはふさわしくない。
	実施過程の評価	・特になし
	効果発現要因の整理	・特になし
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表は妥当であると認められた。
	その他	・目標に関連する指標として、居住人口、就業人口、商業の売り上げなどわかりやすい指標設定が必要である。(中心市街地活性化基本計画に掲げる人口の社会増減と公共交通機関の乗車人員数について補足説明を行った。)
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・歩行者専用道路とサインの計画を一体化し、指標も含めてわかりやすく整理してほしい。 ・県事業との調整をしっかりと図ってほしい。
	フォローアップ	・特になし
	その他	・次期計画では数値指標と目標値を充分吟味してほしい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくりは妥当であると認められた。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。